

水素に関する取組

府では、水素エネルギーを活用した地域課題の解決や産業振興を目指し、令和元（2019）年度から企業にも参画いただき京都府水素社会みらいプロジェクト検討会議を開催するとともに、令和3（2021）年度からは燃料電池フォークリフトに関する実証事業を実施し、水素社会実現に向けた取組を進めています。

写真 1-3-24、写真 1-3-25 燃料電池フォークリフトの実証の様子（令和5（2023）年度）



<令和7（2025）年度の府の主な取組>

1 京都舞鶴港国際埠頭でのペロブスカイト太陽電池等を活用したグリーン水素製造及び純水素燃料電池（固体酸化物形燃料電池）による発電実証

長期貯蔵が可能である水素の特徴を生かした防災用途の検証のため、また再生可能エネルギー導入拡大の起爆剤となりうる次世代型太陽電池の一つで薄く、軽く、曲がるという特性を有するペロブスカイト太陽電池の応用性の検証のため、ペロブスカイト太陽電池等を活用したグリーン水素製造及び水素と酸素から発電を行う純水素燃料電池による港湾照明への電力供給の実証を行いました。

図 1-3-6 実証イメージ

写真 1-3-26 見学会の様子



2 福知山市長田野工業団地での燃料電池自動車を活用したラストワンマイル物流実証

これまで実証してきた燃料電池フォークリフト以外の物流分野における水素需要取り込みを目指して、拠点を中心に配送を行うラストワンマイル物流に着目、ラストワンマイル物流における**燃料電池自動車 (FCV) ***の活用についての実証を行い、水素需要量や燃料電池自動車の使用感の把握、企業への燃料電池自動車活用の啓発などを行いました。

図 1-3-7 実証イメージ

写真 1-3-27 見学会の様子



3 京都環境フェスティバル 2026 での水素エネルギー啓発

京都環境フェスティバルにおいて、実証事業に関するパネルや機器等の展示、実証で製造したグリーン水素を活用した水素アプリケーション体験などを通じて、府民の皆さまに水素について理解を深めていただきました。

写真 1-3-28 展示、体験の様子

